

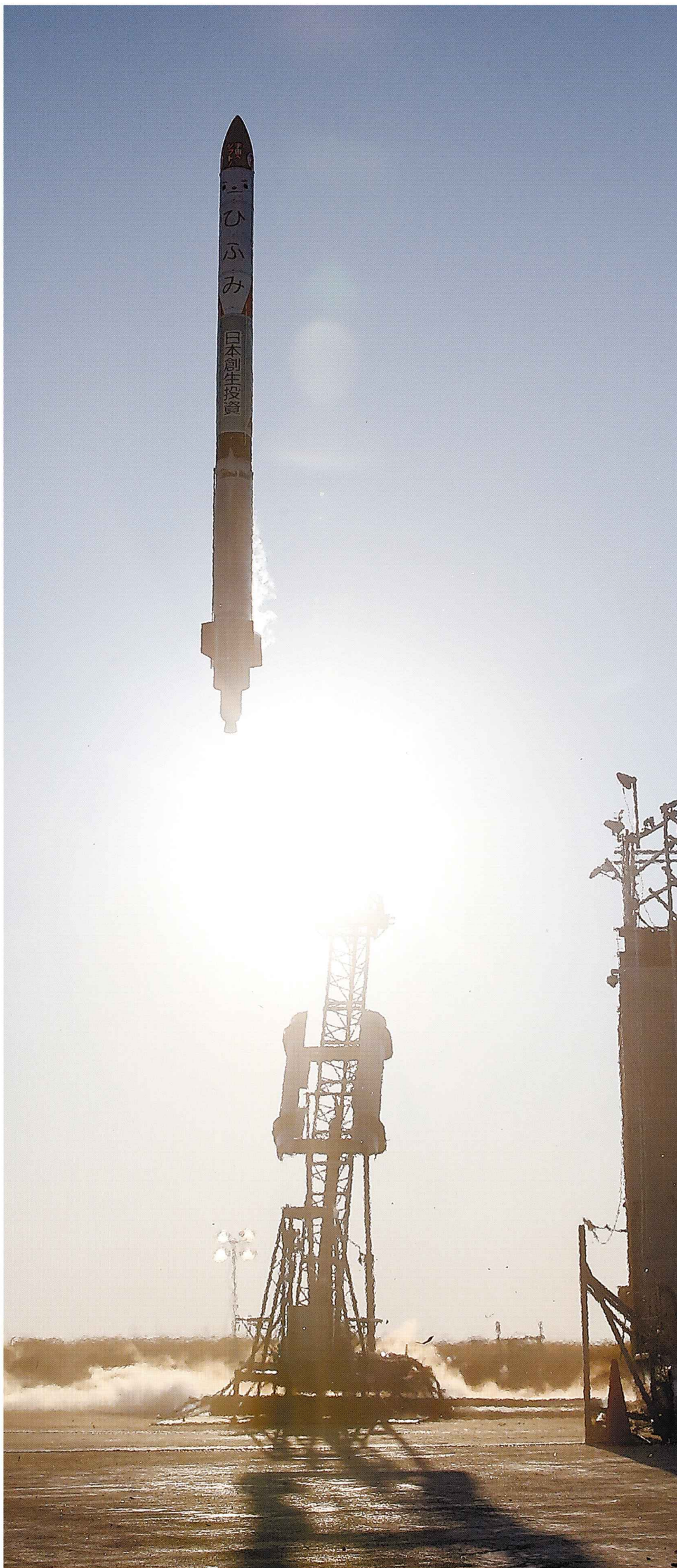
大樹ロケット宇宙到達

民間単独で国内初

【大樹】十勝管内大樹町のベンチャー企業インターステラテクノロジズ（IST、稲川貴大社長）は4日午前5時45分、同町浜大樹の実験場から宇宙観測用の小型ロケット「MOMO（モモ）」3号機を打ち上げ、4分後に目標の宇宙空間（高度100キロ）に到達した。民間単独での開発によるロケットの宇宙空間到達は国内で初めて。

モモ3号機は全長10メートル、直径50センチの1段式で、推進剤のエタノール、液体酸素を充填した重量は1150キロ。機体はエンジンを116秒間燃焼させ、最高高度113.4キロまで上昇した後、午前5時53分に大樹町沖37キロの太平洋に着水したことが確認された。

（大能伸悟）



大樹町浜大樹の実験場で打ち上げられたモモ3号機。目標の宇宙空間に達した＝4日午前5時45分

